

# 宮路拓馬 FAX 国会通信

## ■ 衆議院農林水産委員会 初質問

3月18日、衆院農水委員会が開かれ、林芳正農水大臣の所信に対する質疑が行われました。私も前佐賀県知事で、総務省の先輩でもある古川康議員に続いて初質問をいたしました。農家の皆さんが安心して農業に取り組める環境を整えることが政治の役割であるとの思いから、①農協改革について ②農政の継続性について ③薬用作物への取り組みについての3点に関し、政府の考えを質しました。

林大臣からは、「飼料用米の生産拡大に向けた支援を『食料・農業・農村基本計画』に明記のうえ閣議決定する。そのことによって財政的にも中長期的に安定的な政策とし、農業者が安心して農業に取り組めるようにしていく」との答弁をいただきました。



(3月18日 衆議院第17委員会室)

今後とも、若い世代も含めて農家の皆さんが農業に全力投球できる環境を作っていけるよう、地元の声を国会に届けてまいります。

## ■ 自民党本部 早朝から連日の勉強会

自民党本部では連日、朝8時から一日を通じて幾つもの政策立案や法案作成のための会合が開かれています。3月24日朝には農林関係合同部会と厚労部会看護問題小委員会に出席しました。

看護問題小委では、介護・福祉施設における看護等の現状と課題について現場の看護師の方々や厚労省から説明を受けた上で議論が行われました。

今後の高齢社会において地域医療を支えていくためにも、看護人材の育成・処遇改善に取り組んでまいります。



(3月24日 自民党本部)

## ■ 地方創生に繋がる再エネ事業推進を！

4月1日の新年度のスタートは資源・エネルギー戦略調査会の再生可能エネルギー普及拡大委員会（テーマ：地方創

生につながる再エネ事業者を育てていくために)でした。

再エネの普及は、エネルギーの問題としてのみ捉えるのではなく、いかに地方において雇用と富を生み出していくかが重要であるとの問題意識から、「大企業による取組よりむしろ地元の企業あるいは組織による取組をどのように促進していくか」について質問を行いました。



(4月1日 自民党本部)

### ■ 平成27年度予算成立 ～景気的好循環を全国津々浦々に～

4月9日、一般会計総額96兆3420億円の平成27年度予算が成立しました。

27年度予算は、26年度補正予算と合わせて日本経済の再生と財政健全化を同時に達成し、安倍政権の目指す経済政策「アベノミクス」を加速させようとするものです。

歳出面では、地方創生や少子化対策などを強力に推進していくための内容となっています。また、歳入面では、新規の国債発行額が6年ぶりに40兆円を下回り(民主党政権下の平成24年度予算では44兆円)、プライマリー・バランス(基礎的財政収支)の大幅な改善を達成することになりました。

新年度予算の切れ目のない速やかな執行によって景気を底上げし、経済的好循環を全国津々浦々に広げるアベノミクスをさらに推進していかなければな

りません。

### ■ 県議会議員選挙にて自民党公認候補の応援に駆け回る

4月3日から12日までの9日間、鹿児島県議会議員選挙が行われました。今回の県議選は「地方こそ成長の主演」をテーマとして、自民党として、24年12月の衆議員選、25年7月の参議院選、そして昨年末の衆議院選に続き、政権奪還を締めくくするために必勝を期して臨んだ選挙戦でした。

私も自民党第3選挙区支部長として自民党公認候補の応援に駆け回り、有権者の皆さんにアベノミクスの成果や地方創生の必要性について訴えさせていただきました。

### ■ 主な所属議員連盟一覧

◎自民党農民の健康を創る会 ◎TPP交渉における国益を守りぬく会 ◎日本の誇れる漢方を推進する議連 ◎普及事業推進議員懇談会 ◎自民党茶業振興議連 ◎超党派米消費拡大・純米酒推進議連 ◎木質バイオマス・竹資源活用議連(事務局次長) ◎しいたけ等振興議連 ◎自民党養鰻振興議員の会 ◎自民党畜産振興議連 ◎獣医師問題議連 ◎鳥獣捕獲緊急対策議連 ◎捕獲鳥獣利活用推進議連 ◎自民党全国保育関係議連 ◎幼児教育議連 ◎自民党看護問題対策議連 ◎リハビリテーションを考える議連 ◎栄養教諭議連 ◎歯科技工士に関する制度推進議連 ◎浄化槽推進議連 ◎全日本不動産政策推進議連 ◎賃貸住宅対策議連 ◎高速道路建設推進議連 ◎自動車議連 ◎自民党消防議連 ◎海上保安議連 ◎司法書士制度推進議連 ◎自民党税理士制度改革推進議連 ◎自民党伝統的工芸品産業振興議連 ◎自民党電力安定供給推進議連 ◎街の酒屋さんを守る国会議員の会 ◎硫黄島問題懇話会 ◎ジオパークによる地域活性化推進議連